

「市民参加懇談会 in 御前崎」の概要

1. 日 時：平成17年10月5日(水) 13:30～17:00
2. 会 場：静岡県御前崎市 新野公民館
3. テーマ：「知りたい情報は届いていますか」
～ これまでと、これから ～
4. 出席者：
 - ・市民参加懇談会コアメンバー
碧海委員、新井委員、井上委員、小沢委員、
中村委員(司会・進行)、吉岡委員
 - ・原子力委員会
木元委員(座長)
(オブザーバー)近藤委員長、齋藤委員長代理
町委員、前田委員
 - ・市民の方からのご意見発表
池田 文明 氏 御前崎市在住
大澤 幸子 氏 御前崎市在住
大澤 尚登 氏 御前崎市在住
片山満洲雄 氏 浜岡商工会副会長
鈴木 俊夫 氏 御前崎市在住
藤原 照巳 氏 御前崎市在住
増田 勲 氏 夢咲農業協同組合浜岡地区担当理事
増田 勇一 氏 御前崎漁業協同組合長
柳沢 静雄 氏 御前崎市在住
山下マサ子 氏 御前崎町商工会女性部長
(参加者)約240名
(プレス)20社

5 . 概要:

- (1) 第 1 部 市民の方 (事前に依頼) からのご意見発表では、御前崎市在住の 1 0 名のご発言者からご意見を伺い、コアメンバーからも質疑が行われた。(約 2 時間)
- (2) 第 2 部 会場参加者からのご意見発表では、参加者 (1 5 名の方々がご発言) からご意見を伺うとともに、市民参加懇談会コアメンバーの応答を交えて、活発な意見交換が行われた。(約 1 時間)

(第 1 部での発言の例)

- 1 . 原子力発電所により、各施設や道路の整備、雇用の促進、電気料金の還付、補助金などの恩恵を受けたと感じる。
- 2 . 企業の不祥事がクローズアップされるようになり、企業の情報開示が重要視されてきたために、情報は入りやすくなってきている。また、回覧板、原子力の情報誌、C A T V、説明会でも情報は入ってきている。ただ、原子力発電所のこととなると、理解しにくい感があり、できるだけわかりやすいように説明頂きたい。原子力発電所とは共存共栄してゆくのだから、小中学生でも理解できる説明をすすめてもらいたい。
- 3 . 原子力発電所の見学会や講演会に参加し、不安のない、丁寧な説明で心配しなくていいと感じた。発電所の地域の職員との信頼関係、コミュニケーションが原子力発電の安全性、安心感につながるのではないか。
- 4 . 知りたい情報といえば原子力発電所が東海地震に耐えられるかが関心事であり、その情報は届いていない。
- 5 . 想定東海地震のシミュレーションを行い、どのように対応するか危機管理としてのシナリオを作成してもらいたい。
- 6 . 中部電力が静岡県や御前崎市と結んでいる安全協定に

は事前了解の項目がないが、国内17の立地地域のなかで浜岡だけであり、事前了解の項目を盛り込むように指導して欲しい。

- 7．プルサーマルは、安全性が客観的に確保されるまで、そして東海地震をやり過ごしてから、改めて協議するようにして欲しい。
- 8．原子力発電所の建設によって地域の開発振興、雇用の拡大に効果があった。また、CATVや通信システムも整備された。
- 9．地域発展という原点に立った情報提供が必要である。浜岡原子力発電所は住宅地と隣接しており小さな事故に対しても非常に影響が大きいので、安全性を願う。原子力発電所は安全が必須である。
- 10．企業や行政は速やかなる情報開示が必要である。公表の遅れは不信や不安を招く要因になり、場合によっては大きな社会問題に発展しかねない。
- 11．中部電力のプルサーマルに関する戸別訪問で元中部電力社員がインタビューに答えたものが報道されたのは、やらせではないのか。
- 12．2年続けて火災が発生した。テレビ報道されたが、市民には、ほとんど情報がなかった。
- 13．知りたい情報とは、自分が知りたいと思っている時に届くもの、自分が知りたいと思ったものを取り寄せること、知りたいと思っていなかったが関心を持つもの、であると考えており、これらがタイムリーに届くと良い。
- 14．原子力発電所での事故が発生した場合、農家は風評被害が無いことを確認するまで安心できない。
- 15．昭和では特に無かったが、平成に入って磯焼けにより海藻が全滅状態となっている。温排水が原因かどうかは自分ではわからない。陸上に比べて海の中の情報が入ってこない。海中や海底の調査結果では異常がないと言

っていたが、正確な情報を知りたい。

- 16．原子力発電所は危険であるが、異常な天災による事故では電力会社は免責される。
- 17．原子力の推進は不利な情報を隠し、反民主主義的にごり押しされてきたのではないか。
- 18．二酸化炭素排出の削減のためには原子力発電所が必要であると考えます。
- 19．住民の多くは難しいことはわからず、事業者を信頼するしかない。きちんとした説明を続けて欲しい。専門用語はわかりにくいので、誤解されないよう説明することが大事である。

(第2部での発言の例)

- 20．地震の専門家から浜岡原子力発電所は危ないとの発言があることを知ってほしい。静岡県民は、東海地震とそれに対する浜岡発電所の安全性に注目しており、専門家を交えた討論の場を作って欲しい。
- 21．国の原子力政策であるとか、企業利益であるとかの問題の前に、住民の安全や安心を第一に考えた政策を検討して欲しい。
- 22．核燃料サイクル、バックエンドに関して、新計画策定会議での吉岡委員の提案のいきさつについて知りたい。また、核燃料サイクル政策のメリット・デメリットについて知りたい。
- 23．いざ非常に大変な事態が発生した場合に住民がどうしたらいいかという情報が不足している。原子力防災に関して、もう少し住民にアピールする必要がある。
- 24．ヨーロッパでは35基、プルサーマルの使用実績がある。先行のヨーロッパに行き、いろいろな話を聞き、安全性を確認した上で推進してもらいたい。他の地域から反対派が来るが、住民自身で納得したうえで、受入体

制を作りたい。

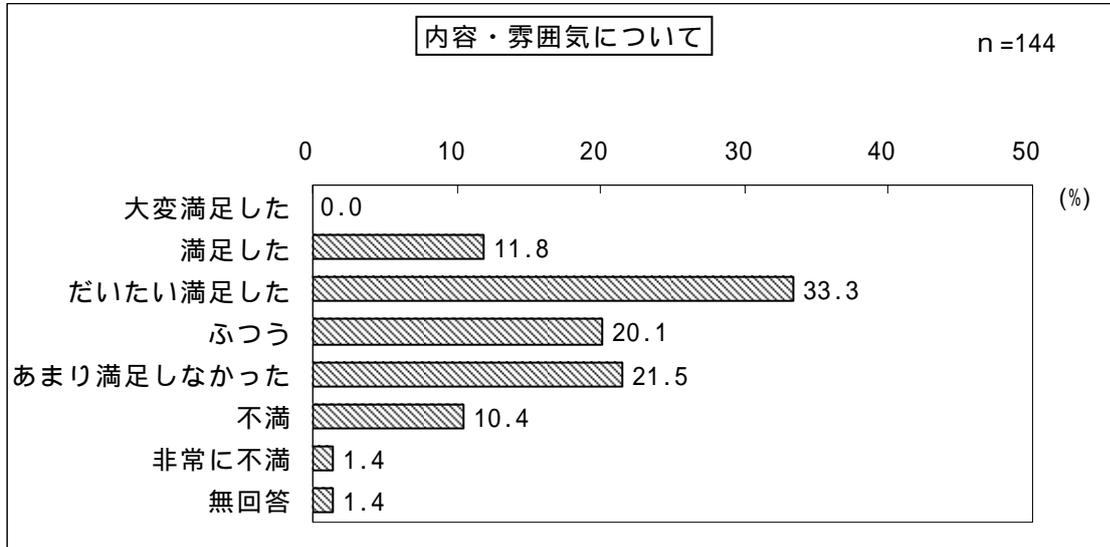
- 25．原子力発電所の至近に民家があるという情報は伝わっているか。
- 26．目に見える安全対策を望む。事後対策ではなく、1959年に科学技術庁によって検討した原子力都市計画法のような事前対策の法律を制定して欲しい。
- 27．静岡県のテレビや新聞では今週の地震のコーナーがあるほど地震についての関心が深い。
- 28．中部電力は10月1日より1リットル以下の漏洩は情報発信しないこととなったが、これまで通り公表してほしい。
- 29．中部電力からはプルサーマルに関してマイナスな意見が出てこない。その情報公開が大事なことである。
- 30．防災について調べたが、地震の時は家から出られるよう戸や窓を開け、放射能漏れの際は窓を閉め、外に出ないという対応をとるが、地震が発生し放射能漏れの場合の対応方法がわからない。また、静岡県では地震防災の訓練はするが、放射能防災の訓練はやったことがない。このような時の対応についての情報が知らされていない。
- 31．浜岡原子力発電所は29年、事故もなく過ぎた。レベル1に満たない問題を取りただして反対しては日本のエネルギー問題を解決できないのではないか。
- 32．一番知りたい情報は安全や安心であり、仮に事故が起こったとしても、過去の類似事例につき、その後の対策・点検について情報が得られれば安心感を持てる。
- 33．放射線について、国の基準と比較した数値だけでは安全・安心がよくわからない。似た地域(例えば三重県)との比較を示した方がわかりやすいのではないか。
- 34．地震は地震、原発は原発、と情報が別々に流れており、これを一つにした情報が届いていない。市民自身が

その内容を判断することによって安心感が持てる。

- 35．新しい情報が出たら、それに対してきちっと答えていくようなシステムが必要である。
- 36．原子力Q & A集での放射線に関する記述やプルサーマル計画のパンフレットで原子燃料とペットボトルを同列にあつかった記述には不満がある。情報操作があるように思える。
- 37．中部電力で耐震性向上のための補強工事を行っているが、具体的に知りたいし、自らで検証したい。
- 38．電源三法交付金の他に電力会社いろんなお金が流れていると聞いているが、そういうものを公開してもらえないのかと思う。
- 39．推進でも反対でも一堂に会し両方の意見を聞き、話し合いをすることが大事である。

「市民参加懇談会 in 御前崎」についてのアンケート結果

1. 本日の「市民参加懇談会 in 御前崎」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものを番号に 印をお付け下さい。



その理由について

< 1 > 満足した

- 色々な方の意見（対立した意見も含む）を聞く機会を持てたから。情報は共有しようと努力しなければ共有することができないと実感できた。（男性）
- 市民の疑問点（火災の原因等）や、海底の状況がわかった。（40～50代、男性）
- 偏らない意見が出たこと。（60代以上、男性）
- 地域の人からの意見をよく聴き取ろうとしているのは良い。（60代以上、男性）
- 原発に対し賛否両意見を聞くことができた。（40～50代）
- 発言者の率直な意見を聞くことができた。発言者の発言内容には知識、情報量の差があることがはっきりわかり、勉強になった。市民の思考を目覚めさせることが大事。（40～50代）
- 非常にたくさんの方々から意見が聞けてよかった。いろんな情報がとびかっている現在どこに的をおくか考えさせられた。（60代以上）
- 個々が、それぞれの生活の中で感じた疑問が素直に出てきたように感じられる発言が多かったから。（20～30代、男性）
- 反対派の人間たちが満足したと思う。自分は反対派ではなく、賛成であるがこのような機会は良いこと。日本国のためには、プルサーマルは必要である。（40～50代、男性）
- 満足した。（御前崎での第一歩をやっと進めたと感じ）。でも、第1部の発言者は、自分の考えを言うのはいいが、テーマから外れている方が多いように感じた。（40～50代、男性）

< 2 > だいたい満足した

- 原発推進の人たちの話が聞け、又、データの的に知らなかった事を知り得た。（40～50代）
- 問題点について様々な意見が聞かれた。（60代以上、女性）
- 1部と2部に分けて、しかもポイントを絞ってやった事はよかった。（60代以上、男性）
- いろいろな意見を持っている方が、同じ場で意見交換することができたから。（20～

30代、女性)

さまざまな意見をきくことができた。(20~30代、男性)

県外、県内でも遠方の反対派と中電関係者ばかりが出席して本当の御前崎市民は一握りなので笑えた。(20~30代、男性)

色々な意見も聴けて参考になった。(40~50代、男性)

テーマからはずれた意見が多かった。(40~50代、男性)

推進賛成に近い方の発言を聞いたこと。磯焼けの実体験を聞いたこと。

いろいろな人の考え・思いが聞いた。(40~50代、男性)

色々な立場、考え方の人の意見が聞いた。(40~50代、男性)

いろいろな意見を聞いた。(40~50代)

種々の意見が集約されて聞いた。(60代以上、男性)

市民の声を行政に届ける機会が増えること。(40~50代、男性)

自分が考えた事とおおむね同じだったが、意外な考えも聞いて満足した。(40~50代)

賛否両論いろいろな意見が積極的に出されて良かったのではないか。(40~50代、男性)

危機意識的発言も多くバランスは取れていた。(40~50代、男性)

初めて参加したのでこんなものかと思った。(60代以上、女性)

第1部でのコアメンバーの方の質問が、周辺部分のものに終始したため、メインテーマ「情報」について、議論が深められなかった。(20~30代)

元浜岡町の人達の危機意識の低さに驚いた。(40~50代、男性)

半分程度ではあるが、地元の方の意見を聞くことができた。(40~50代)

いろいろな人の意見を聞くことができてよかった。(40~50代、男性)

様々な考えの人の意見が聞いて参考となったが、反対の人は本来のテーマから逸脱していて気がする。(40~50代、男性)

みんなの本音が聞いた。(40~50代)

私も原発に対して不安を持っているが、代弁者がいてうれしかった。市民は不安を持っていてもそのことを口に出すとすぐ「反対派」として烙印を押され、言いようのない不愉快な思いをすることが多い。(40~50代、女性)

意見の発表は言いたいことを言っていた。(60代以上)

地元以外の発言が多すぎる。(40~50代)

一般からの意見、質問に対する簡単な専門家のコメントがあってもよいのでは。(40~50代)

テーマに沿わない宣伝と思われる意見は残念。御前崎町の中にも科学的に原発を見ている人がいる。(40~50代、男性)

主旨に少しズレがあった。(60代以上、男性)

発表者の意見がおおむね伝わってきた。(40~50代、男性)

< 3 > ふつう

原発と地震との関係の質問と問答をしっかりと討議してもらいたい。(40~50代、男性)

会場からの発言が意外と活発であった。(40~50代、男性)

意見の内容はだいたい予想の範囲内であった。(40~50代、男性)

私は原子力発電の安全性は御前崎市民がほとんど納得していると思っていたが、本日の懇談会でそうではないと考え直した。(60代以上、男性)

予測したとおり。地元民の意見を聞いて原子力行政の参考にして欲しい。(60代以上、男性)

自由に意見を言える、分からないことを聞ける、当たり前のことを当たり前に。(40~50代、男性)

参加者は討論をしたかったようなので、少し不満に思われている部分があると思う。(40~50代、男性)

第2部の時間(希望者の発言)が充分でなかった。(40~50代)
挙手発言の方式に少し疑問、よくしゃべる人(声の大きい人)の声が強く聞こえる。(20~30代、男性)
意見が賛成・反対のカラーでの発言が多く、互いの何の情報も不足か?言える場としてはよかった。(40~50代)
司会者が再三指摘していたが、本会の主旨に合っていない発言が多すぎる。中には参考になる発言もあった。(20~30代、男性)
主旨からはずれる意見者がいて低レベルだ。(40~50代、女性)
経過など風化して知らなくなっているかもしれない。住民は賛否両方の勉強が必要。(40~50代)
ご意見についてまとまりがない。お金のことは発言しないようにしてほしい。(60代以上、女性)
市民参加とはいえ、年寄りの男性とおばさんだけではだめ、若者を集めた会を設けて欲しい。(60代以上、男性)

< 4 > あまり満足しなかった

期待した内容とは異なる。(40~50代)
反対者の意見が強いのみ。地元の声がかからない。(40~50代、男性)
主旨に反した内容があった。
原発反対意見ばかりで本題に沿った内容のものが少なかったように思う。他地域の方が多く、もう少し地元の意見が欲しかった。(40~50代、女性)
自分が言いたいことだけ言っている人が多かった。(20~30代、男性)
意見を選ばれた人、応募した人が言う事はいいが、自由な会場の人が意見を言うのは、地元以外の人達ばかり、本当に地元の人意見を聞くのなら、御前崎市、せめて安全協定の締結範囲の市町にして欲しい。
テーマに合った意見が少ない。(40~50代、男性)
主旨に沿った意見発表が少ない。(40~50代、男性)
反対、賛成の討論になりかけたため、残念。(20~30代、男性)
市以外からの方は反対派だった。もっと御前崎市民の意見を聞きたい。(60代以上、男性)
反対派の要望が多く題材にあっていない。(40~50代、男性)
コアメンバーの構成が不公平である。もっと開かれたものであるべきだと思う。地震の問題をあえて避けている。原子力委員会こそ、地元で電力会社の安全軽視が届いているか聞きたい。(60代以上、男性)
あまり主旨と関係のない話が多かった。野次が賛成派・反対派両方からあって下品。(20~30代、男性)
放射能災害の性質上、御前崎市だけの問題ではない。立地市町村だけが金銭的恩恵に預かるだけでいいのか。司会者の他市町村者を区別する発言はおかしい。(60代以上、女性)
地元以外の人参加者が意見を言いすぎる。(40~50代)
原子力発電所立地時の話ばかりで今後のプルサーマルの話がでない。(60代以上、男性)
第1部は趣旨から離れた意見が多く期待はずれだった。(40~50代、女性)
本心だろうかと思った話があった。良かったことの話が多かったように感じた。市民は本当にそう思っているのだろうか?御前崎市ばかりでなく10kmの内に入っている市民にも話を聞いてもらいたかった。(40~50代、女性)
何か反対派の集会のようなものになってしまっている。(40~50代)
地元(御前崎)の方の意見があまりなかった。(20~30代、女性)
期待してきたのに残念だった。金をもらっているからとか最低だと思う。静岡県に原子力発電所があるのが自慢だったのに。(60代以上、女性)
時間的に話をよくまとめてなかった。もう少しわかりやすい話を聞きたかった。(女性)

反対派の方がテーマとは異なる意見ばかり発言していた。(40～50代)
 時間が足りない。(20～30代、女性)
 話が断片的(40～50代)
 今回の「懇談会 in 御前崎」は参加者200名の定数では御前崎市並びに隣地市町を対象にすべき。(60代、男性)
 御前崎市以外の人参加をもっとOKするべきだった。静岡県内とかを中心。御前崎住民にそれほどこだわるなら県内の別の所でもして欲しい(静岡市)。(40～50代)

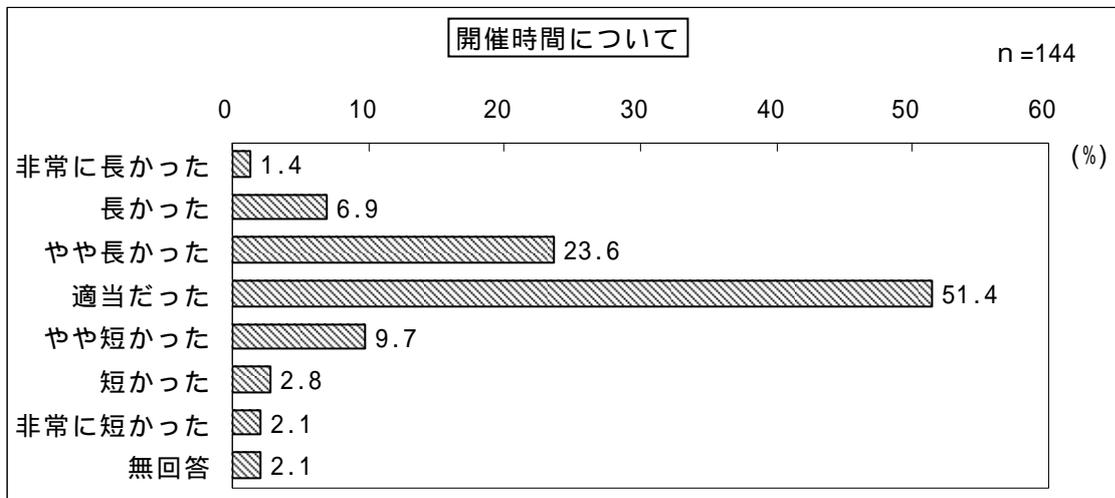
< 5 > 不満

会場への道路案内表示がない。座席についても参加者席の表示や案内がない。駐車場が狭い。会場内が悪い。発言者の顔が見えない。(40～50代、男性)
 懇談会の主旨から離れているのでは?(40～50代、男性)
 市外の人意見がほとんど。(40～50代、男性)
 不平と一方的な進行(40～50代、男性)
 御前崎市以外でも懇談会をやるべきだ。(60代以上)
 主催者側の開催主旨と参加者の目的に乖離がある。今回のテーマ設定に無理がある。(40～50代、男性)
 反対派の意見ばかり。討議がない。(40～50代)
 主旨にあっていない。(20～30代、男性)
 「討論」ではなく「聞く」という姿勢は傲慢では?討論すべき。委員は何をしに来たのか。(男性)
 浜岡原子力についての懇談会でなく、反対派の意見発表会である。正しい理解、知識を持っていない。(40～50代)
 推進派も反対派も自己主張的な発言に終始し、テーマである「知りたい情報は届いていますか」に答えていない。(40～50代、男性)
 入場の際、本人確認する必要などない。御前崎だけの問題ではないのに、司会者は御前崎在住にこだわっていておかしい!(40～50代、女性)

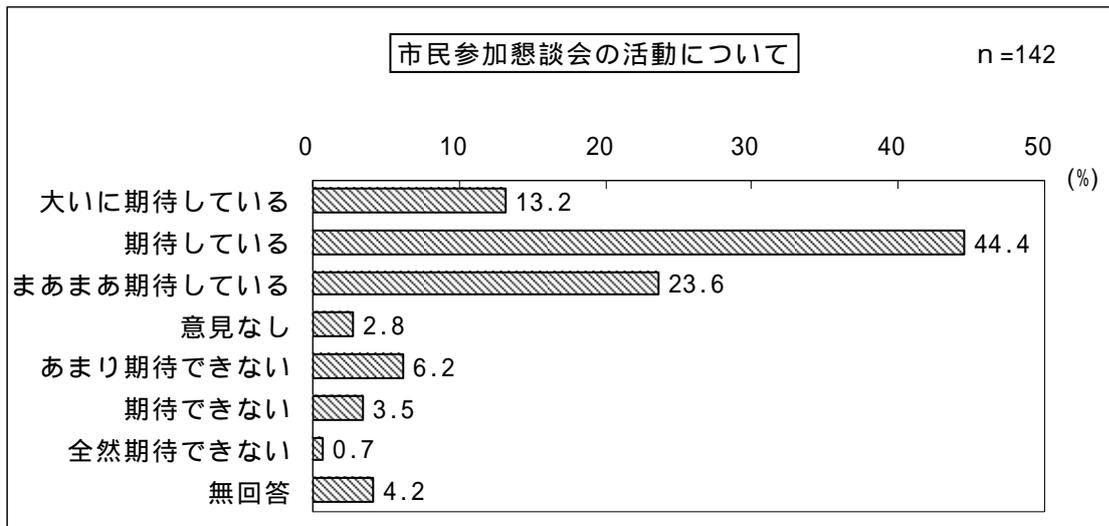
< 6 > 非常に不満

反対者(第2部)のバカな意見にがっかり。
 もっと大きく公開討論会にしないと! 宣伝も足りない。そもそも県民や地元を全く無視し決定してしまう原子力行政はナンセンス!!

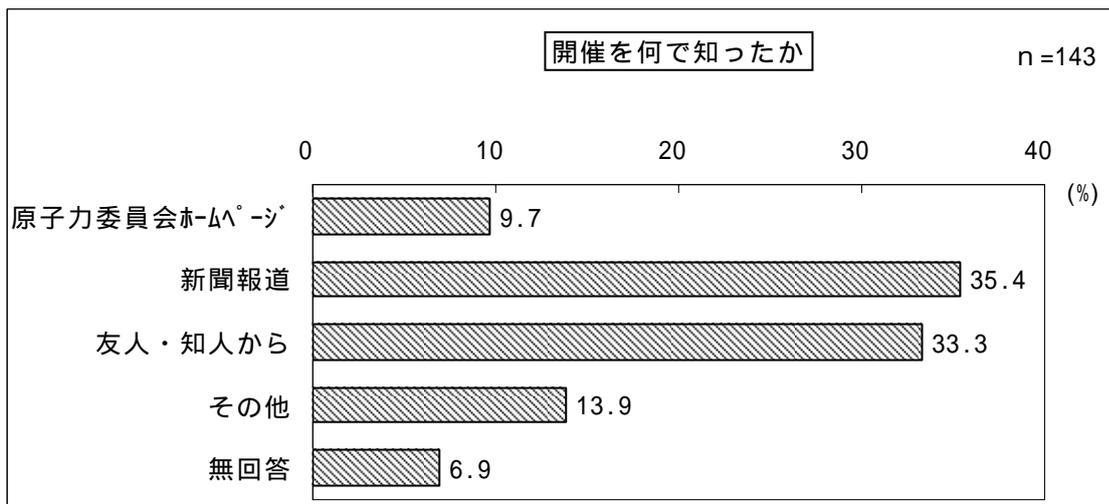
2. 本日の「市民参加懇談会 in 御前崎」の開催時間(3時間半)について、あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付け下さい。



3. 今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどのように思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付け下さい。



4. 本日の「市民参加懇談会 in 御前崎」の開催を何でお知りになりましたか。



5. 本日の「市民参加懇談会 in 御前崎」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

< 市民参加懇談会について >

「情報公開」という言葉が使われるようになり、また発信側と受信側も学習してきて今回の如きテーマが 11 回継続されていることを評価したい。生の声を委員、国にうまく上げていくためには日本の場合、特にリーダーの強力な力が必要だと思う。(60代以上、男性)

原子力発電は、1つの企業で行われてることだが、それに対して、賛否の意見があり、委員会も設置され、こういう場が持たれていることに興味を持った。やはりこれは事故を起こした時のリスクの大きさがそうさせるのだと思う。これからも、こういう場を持ち、それを政策に反映させていって欲しいと思う。(20~30代、女性)

さまざまな方の意見を聴くことができ意義があるものであった。(40~50代、男性)

多くの市民がいまだに原子力に対しての不安が多い。政府としても国民の疑問をもっと受入れるべきだ。(60代以上、男性)

他地区からでなく(これは一般の情報で大体わかる)御前崎市民の意見をもっと聞いたほうが良い。(60代以上、男性)

地元民の理解を得るために原子力委員会が出てきたのは良いことだと思う。原発の必要性、プルサーマル計画は資源のない日本国ではやむをえないと思う。しかし、地域発展と共にでなくてはならない。(60代以上、男性)

反対派の人が遠くから来て、意見を言う。地元の人の意見を聞く場として欲しい。(40~50代)

座るスペースが狭く、つらかった。(40~50代、男性)

週末開催していただければ、より多方面の幅広い年齢層、職業の方が参加できると思う。(40~50代、男性)

今回の市民懇は原子力の安全性・安心感に関する話題が多く、テーマとしては原子力安全委員会所掌の業務に属するものが多いと感じられる。本来の原子力委員会としての原子力エネルギー政策、原子力長計の話題への展開を意図したものだと思うが、このように出前説明会を実施するのであれば、原子力の安全性の話題に至ることは明らかなので、原子力安全委員会との共同開催が望ましいのではなからうか?(今回の市民懇は聞きおく場となっていなかったか?出来れば直接回答してもよかったのでは?)(40~50代、男性)

懇談会?コアメンバーの意見や考えを聞きたかった。これからどうしたら情報が届くか、案を知りたかった。(40~50代)

討論会に前向きな意見、期待している。(男性)

今まで知らなかった情報が耳に入り、このような懇談会が開催され参加できたことをうれしく思う。

司会の方法を改善した形で、このように多くの人の意見が聞けるよう、何回でも開いて欲しい。(40~50代、女性)

< 情報提供・収集のあり方について >

東海地震で浜岡原発が事故を起こすかもしれない。安全である事の具体的な情報が発信されていない。生命を守るために、どういう対策があるのか情報を欲しい。(60代以上、男性)

みなさんの持っている知識は断片的なものが多いのではないだろうか?私自身知らない情報はたくさんあったが、知ってて間違った情報を得ていると思う点もあった。安全 or 安全でないの判断をするためには正しい知識が必要。情報の隠ぺいはいけないし、情報操作も良くない。正しい知識を持つことが一番大事。(男性)

反対派、賛成派でなく心配派。やはり情報は少ない。知りたい時に流れるものが本当の情報、個人が勉強する必要がある。(40~50代、男性)

例えば、「安全性」について云うと、反対の人が充分でないデータを基に安全でないと「信じている」。正しい、客観的情報を伝えることが必要。反対側の意見のみがとおるように思う。浜岡に限らず、原発の安全性には「工学的」安全度を上乘せして設計していることの説明が必要。その意味で従来のS1、S2の考え方は良かった。(60代以上、男性)

一方的な情報発信を賛成・反対共に行っているなど感じた。(40~50代、男性)

情報不足になっている。(60代以上、男性)

発言者の意見がバラエティに富んでいる。情報の必要性は不信・不安なときに気になる。信頼されていれば安心して、自分に必要な情報を広く公開されているので、利用すればよいと思う。(40~50代、男性)

< その他 >

漁業の被害は初めて知った。(60代以上、男性)

座長の最初の発言が参加者へのお礼であったことに感動を覚えた。さすがは座長である。お話の内容も住民の側に立った発言で一貫しているようだ。磯焼け、知りたい情報、知らせたくない情報、くらの発生など、温暖化などの用語に興味あり。補助金使途情報等も。(40～50代、男性)

プルサーマルについてコアメンバーの発言(60代以上、女性)

反対派らしき人の意見は、思い込み、想像、中傷、誹謗が多く、もっと具体的な意見を言うようなものとして欲しい。

金のための地元商工会と地震が起きれば原発だけ残る、には驚いた。(40～50代、男性)

もっとテーマに沿った意見を出して欲しかった。(20～30代、男性)

危機管理のシミュレーションをしたらどうかという意見。原発は東海地震に耐えられるか - データの公表を期待する、公開討論会の開催を要望(60代以上、男性)

浜岡原発が安全性に疑いがあり、もし一度事故があれば、放射性物質が外部へ漏れる事態があった場合、シェルターが必要であると思う。(公民館や道路ばかりに金を掛けている。(60代以上)

漁業者、農業者、それぞれの立場の意見が聞けたこと。(20～30代、男性)

発言者はもっと要点を語るべき。予想された事だが、反対の立場の人は用意周到だが、賛成者の意見は漠然としていて、説得力に欠ける。第三者の視線で見ると、フェアな印象を受けなかった。反対派の鼻息の荒さのみが目立った印象だった。(40～50代、男性)

大地震等があった時に、放射能漏れがあるのかわからないのか迅速に広報して欲しい。(20～30代、男性)

エネルギー政策は正しい。中国(隣国)のCO₂、酸性の方が心配。

テーマとは異なる発言が多かった。特に推進派の発言者。地域振興と安全問題とは別であろう。(60代以上、男性)

プルサーマル計画について(前向きに)計画実施の必要性・実施に当たっての安全性・実施に当たっての問題点を解りやすく詳細に知らすべき。他の電力会社における実施 or 計画実施の状況を細かく内容説明する必要有り。(60代以上、男性)

初めての参加。地元でない人の方が意見を持って出席していたように思う。(60代以上)

賛成者のなぜ賛成かが聞けたのは良かった。理由にはならないと思っても参考にはなった。中電は安全といているが、災害・テロ・戦争時の災害は免責とか責任に裏付けられた安全であって欲しい。最終責任者は誰ですか?(60代以上、女性)

漁協組合長の話。(40～50代、男性)

山下マサ子氏、企業の宣伝が行き届いていることが判明した。増田勇一氏、漁への調査を漁協中心にやるべき。

漁業問題 補助金がある内は、でなければ原発はない方が良い。 原発排水につき海岸の地形が変化しつつある。 浜岡町内では原発の話題は殆どすることがない。(60代以上、男性)

少ない事故でも、情報公開を早めに(60代以上)

プルサーマルについて安全といているが本当に安全なのか。他の国がやっているのに浜岡(日本でも)でもやっても大丈夫だと言っているが何を根拠にそう言えるのか、説明して欲しい。(40～50代、男性)

コアメンバーの発言の中で、核燃料サイクルを電力会社がすすめる理由が、あまりにもリスクが多いと思われているのにわからない。ならば事業者の自己決定、自己責任に基づいて行われるべきとする発言。(40～50代)

東海地震が起きたと仮定してのシミュレーションをして欲しい。事故が起こった際の危機管理と対策のために、という意見に賛同する。(40～50代、女性)

漁協組合長の意見(40～50代、男性)

原子力損害賠償法や未成立の原子力都市計画法の事後・事前対策法整備の問題と、有事の際にはどう具体的に行動したらよいか、についての説明不足と行動指針提示の必

要性を感じた。(40~50代、男性)

危機管理の問題は必要である。

大澤尚登さんのご意見がとてもよかった。農協増田さんの静かなご意見も良かったと思う。大澤幸子さんがなぜ夫の病気の話がされたのか良くわからなかった。(ガンとの放射線との関連があると言いたかったのか?治療に使える放射線だから安心だということか?)もっと原子力が欲しいとの意見にはびっくりした。御前崎だけの問題ではないと思う。海のお話も関係者の方から聞いたことも良かった。(想定外の)地震では電力会社は責任がないとの事を知りショック。(40~50代、女性)

100%安全との中電の発言に放射能防災の訓練は皆無である。(60代以上)

想定外の自然災害が起きたときのことを考えれば前には一步も進めない。しかし、だからといって情報の出し惜しみも困る。国、企業、市民が協働して行くべきと思う。(60代以上、女性)

私は御前崎の地元の方の声が聞きたかった。ただ反対のために来ている人が多かった。空港の反対の方も地元に関係のない人が多い。原発が地元にある。誇りに思っても良いのでは。浜岡町民をバカにしたような発言に怒りを覚えた。(60代以上、女性)

温排水の影響で魚介類が獲れなくなったかもしれないという話があったが、逆に獲れるようになったという話も聞いたことがある。

プルサーマルの情報が欲しい。(60代以上)

原子力反対の人の集まり?(40~50代)

毎年火災事故を起こしている浜岡原発に不安を持った。(40~50代、男性)

懇談会の主旨が理解されないまま発言された方が多かった。(40~50代、男性)

東海地震と原発震災について興味深かった。原発危惧のある方はよく勉強されているが、推進の方はあまり自分で勉強せず、電力会社などの情報を鵜呑みにしていた。(40~50代、女性)

そもそも反対派の発言が多いのは不満。(40~50代)

会場参加者からの意見が片寄っている。もっと公平な立場での意見を聞きたかった。

それが出来ていたら「大変満足」であった。(40~50代、男性)

専門家による討論会を公開の場でやってほしいという意見がいくつかあったので今後検討してほしい。(40~50代、男性)

地震についてみんなの思い。(40~50代)

安全性に関する討論をテーマに、実施すべきではないかと思う。(40~50代、男性)

原子力防災は必要。地元との考え方の見直し要(60代以上、男性)

事故の説明が時間が経過してから市民に知られることなど市民に不安を募らせることが多いと思う。農業をしているが事故のニュースが出るたびに「浜岡」の地名が知られ風評に心配している。1号機の送電線のすぐ下に住む人たちのことを国の人、中電の人は知っているのか?子子孫孫逃げることも出来ない。365日特に雨降りの前はパンパン、パチパチと音がして不気味。(40~50代、女性)

原発は安全でないけれども地域の活性化いろんなものについて有利だと話される人があったがこの考えは不安だ。(60代以上、男性)

意見が反映されにくい。原子力委の方々に(20~30代、女性)

他地区の人間がでしゃばりすぎ。(40~50代)

海の中。(40~50代、男性)

海底のいそやけ。(20~30代、男性)

地震のときの害について。(40~50代、男性)

討論になっていない(趣旨からそれるかもしれないが)。反対する人たちの意見のみ。趣旨に反する自己主張はいかがか。聞くのみならフードバックをきっちりすべき。(40~50代、男性)

地震と安全・安心 情報の必要性

薬には効用と副作用があり、添付書類に記載が義務付けられている。手術には患者・家族に説明して、効果とリスクを医師は選択を求める。原発にもメリットとリスクがある。メリットのみ宣伝されデメリットは隠されている。これではリスクを覚悟した

合意は得られない。(40～50代、男性)

御前崎市民の意見をもっと聞きたかった。反対派の意見の場となってしまった。第1部は良かった。(40～50代、男性)

地震との関係(60代以上、男性)

参加者全員が大変よく知識を持っていること。原発に対する安全性に関心が高いこと。(40～50代、男性)

2010年からプルサーマル計画の実施について、国の許可だけで進めることなく、地元の住民の理解が得られてから実施すること。(60代以上、男性)

ことはいろいろだったが、満足のいく情報をまず住民や周辺に知らされていないということがわかった。中電は情報を隠せるだけ隠しているという確信を持てた。みんなが安心安全情報開示を切実に訴えていた。これを無視することは国家として許されないことだ。

原発について、一人のコアメンバーの住民発言者に対する質問は不快。(40～50代)

原発反対の人はよく勉強しているがそうでない人は、もう少し勉強して、本当に賛成できるか考えた方がいいし、「中電、国が安全と言ってるから大丈夫」というのは・・・(40～50代、女性)

「遠い人は気楽だ」と80代女性の言葉です。(40～50代)

旧浜岡町の人々の発言は少ない。言いにくい雰囲気があるとの東部(張本人と言っていたが・・・)そんな事はない。旧御前崎町とは合併したが、それこそ、町民性だと思う。他町他市の人にはわからないと思うが・・・。(40～50代、男性)

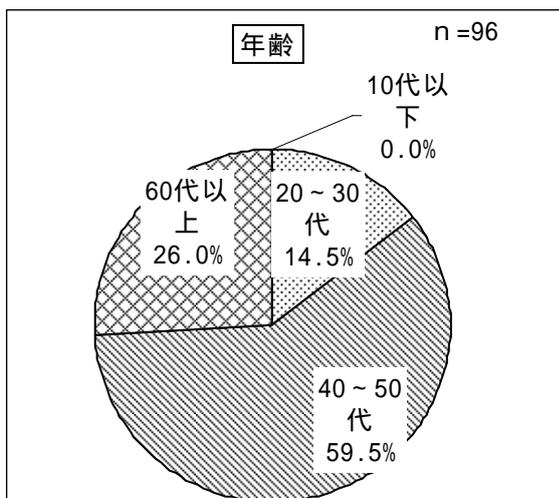
本日は原子力(中部電力)に関係した知りたい情報だった。安全であるということの説明されているがまだまだわからないことがたくさんある。先祖がきづいた尊いこの御前崎市でこれからも次の時代を生きる人たちのために安心できることを希望する。(60代以上、女性)

私達(高齢者、若者、一般)は安全、安心願う。地震の場合の避難も細かく地域的にも情報してほしい。技術面はわからないので小さな事でも地域的に情報を伝えて欲しい。子供たちに教え込んで欲しい。(60代以上、女性)

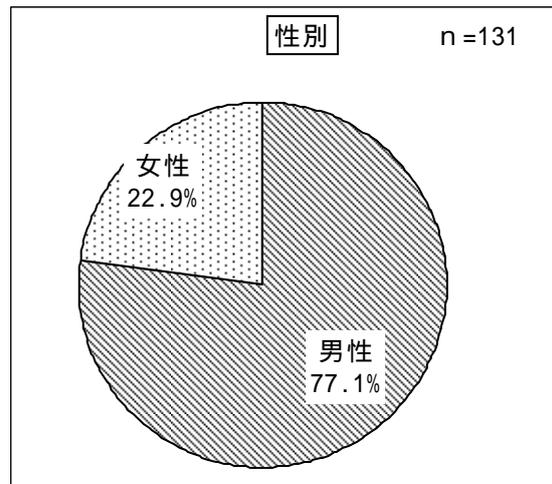
プルサーマルは安全であるか否かを判断するのは住民、住民が安全であるとの判断を出せるような意見を出せるのは原子力委の役目ではないのか。(60代以上、男性)

6. 差し支えなければお答え下さい。

(1) 年齢



(2) 性別



以上